

対象機種	断熱施工用軒下ダウンライト		
対象器具	BFD10844SC(W)・(K)・(S)		
適合断熱工法	マット敷き工法(SGI形)	埋込穴寸法	φ150±2
適合ランプ	ネオボールZ D形 13W以下専用		

このたびは東芝蛍光灯器具をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。  
お求めの器具を正しく使っていただくために、この説明書をよくお読みください。  
この器具は電子安定器を採用しておりますので、電源周波数に関係なくご使用できます。

お客様へ ●この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。  
●素人工事は法律で禁じられています。

工事店様へ ●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

### ■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

### ■工事店様へ 施工上のご注意

**⚠ 警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。 </li> <li>●電源線接続の際は、本取扱説明書の「器具の取り付けかた」に従って行ってください。曲がった電線や、ねじって挿入すると接続が不完全となり、発熱、火災の原因となります。 </li> <li>●この器具は天井埋込専用器具です。傾斜天井、やわらかい天井（ロックワール等）、壁面には取り付けしないでください。指定以外の取り付けを行うと、器具落下の原因となります。 </li> <li>●この器具は調光器との併用はできません。誤って使用すると、破損、発煙の原因となります。 </li> <li>●この器具の電源の送りは、電源用端子台から合計6Aまでです。越えて使用すると、感電、発熱、火災の原因となります。 </li> <li>●器具を改造したり、部品を変更して使用することは絶対におやめください。器具落下、感電、火災等の原因となります。 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●この器具は、海岸に近い塩害地区には使用できません。早期の錆発生、落下の原因となります。 </li> <li>●この器具は腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください。そのまま使用すると、変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。 </li> <li>●この器具は、振動の激しい場所には使用しないでください。そのまま施工されると、器具落下の原因となります。 </li> <li>●この器具は、防湿形ではありませんので、湯気、湿気の多い場所には使用しないでください。湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因となります。 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●器具の取り付けは、凸凹面に取り付けしないでください。凸凹面に取り付けられると、防水性が損なわれ、湿気、水気の浸入により絶縁不良、感電の原因となります。 </li> <li>●アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。アースが不完全な場合には、感電の原因となります。（D種接地工事） </li> <li>●器具と照射面との距離は、10cm以上離して使用してください。照射距離が指定よりも近すぎると、被照射物の変質、変色、火災の原因となります。 </li> </ul>
---	--	---

○ 0.1m | 60°C 被照射距離

●この器具はマット敷き工法専用です。  
●ブローイング工法で施工される天井には、使用できません。これを無視して施工した場合には、発熱、火災の原因となります。マット敷き工法<住宅用ガラスワール断熱材(JIS A 9522)のロールタイプまたはパットタイプを天井に敷き込む工法>で断熱施工された天井に取り付けることができます。

断熱施工
 SB
 SGI
 SG

**⚠ 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●周囲温度は、5℃～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。 </li> <li>●この器具は、器具下面側のみ防雨形です。激しい雨や突風が吹き込む場所には使用しないでください。間違えて使用すると器具、部品の落下および絶縁不良、感電の原因となります。 </li> <li>●センサー器具はスイッチ1個辺り1台までです。 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●器具表示された交流100V(±6%以内)以外の電圧でご使用しないでください。間違えて使用するとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。（器具の定格電圧と電源電圧は器具を取り付ける前に必ず確認してください。） </li> <li>●器具同士は密着させたり、集合させて使用しますと、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。 </li> </ul>
--	---

### ■お客様へ 使用上のご注意

**⚠ 警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

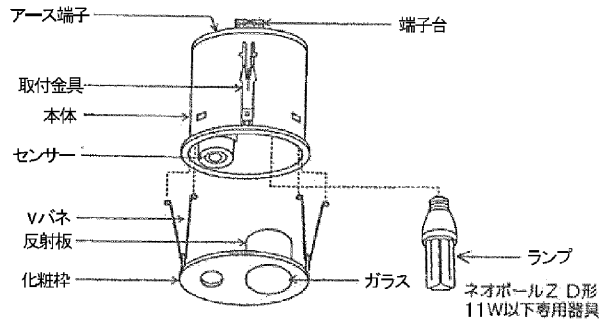
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。 </li> <li>●ランプや器具を布や紙等の可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしないでください。火災の原因となります。 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●器具の隙間や放熱穴に金属物などを差し込まないでください。感電や火災などの原因となります。 </li> <li>●ランプ交換の際は、必ず本体表示ならびに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合には、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。 </li> </ul>
---	--

**⚠ 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●点灯中および消灯直後(20分)はランプおよび器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。 </li> <li>●器具を洗剤・薬品等でふいたり殺虫剤をかけないでください。器具の破損、落下、感電などの原因となります。 </li> <li>●器具を水洗いしないでください。感電、故障の原因となります。 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●照明器具には寿命があります。 </li> <li>●設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)</li> <li>●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。</li> <li>●点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。</li> <li>●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。</li> </ul>
---	--

## ■各部のなまえ

### 防雨形



## ■器具の取り付けかた

### 器具の埋込穴

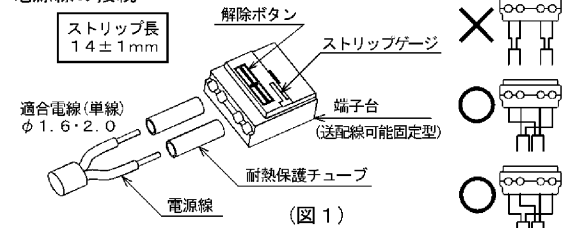
1. 天井に埋込穴 (φ150±2mm) をあけてください。
2. 取付前に器具重量に十分に耐えるよう、取付部の強度を確保してください。  
※ロックウール等、柔らかい天井材に取り付ける場合には、必ず取付金具と天井の間に補強材を入れてください。  
※取付可能天井厚は、5mm～25mmです。

### 本体天井取付方法

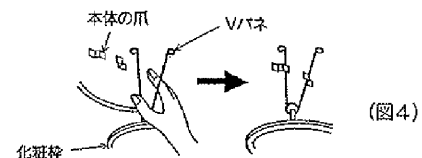
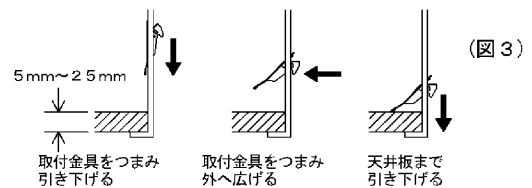
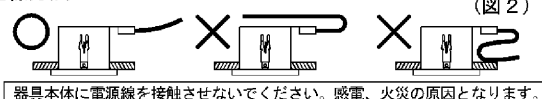
(注) 取り付けに不備がありますと落下の原因となります。

1. 化粧枠をはずしてください。
2. アース線を用いてD種接地工事を施してください。  
(アース端子は器具上面です。)
3. 端子台に電源線を結線します。結線は端子台のストリップゲージ14±1mmに合わせて電源線の被覆をむき同梱の耐熱保護チューブを取り付け奥まで差し込んでください。その際、電源線をねじったりしないでください。(図1参照)  
●電源線を抜く際は必ず電源を切り、解除ボタンをマイナスドライバーで押さえながら電源線を引き抜いてください。  
注) 送り配線は照明器具専用としてください。(送り容量6A以下)  
注) 同梱の耐熱保護チューブは必ず電源線、送り配線に取り付けてください。  
注) 器具本体に電源線を接触させないでください。感電・火災の原因となります。(図2参照)
4. 本体を埋込穴に押し込み、取付金具を引き下げます。  
器具は確実に取り付けてください。(図3参照)
5. ランプを取り付けてください。  
注) 適用ランプ以外のランプは絶対に使用しないでください。
6. 化粧枠のバネを本体の爪にかけ、水平に化粧枠を押し上げてください。  
(図4参照) ※ガラスがランプの下にくるようにしてください。
7. センサーの調整を行なってください。

### 電源線の接続



### 配線方法

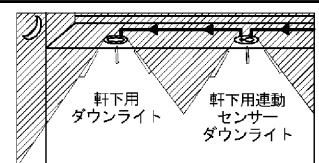


## ■センサー送り機能

他の器具を人感センサーと連動して点灯させることができます。

連動での送り配線は、連動可能負荷の範囲で取り付け可能です。  
(送りで接続した器具は、この器具の点灯状態に連動します。)  
電源の送りは電源用端子台から合計6Aまで可能です。

※連動で接続している器具との距離は、ダウンライトは0.8m以上、  
その他の器具では1m以上離して取り付けてください。誤動作の原因となります。



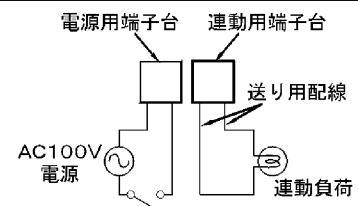
## ■センサー送り配線方法

### 送りに用配線の接続

1. 連動用端子台の“電源接続禁止”と記入されているラベルをはがしてください。
2. 連動用端子台に送り用配線を結線します。結線は連動用端子台のストリップゲージ14mm±1mmに合わせて送り用配線の被覆をむき、同梱の耐熱保護チューブを取り付け奥まで差し込んでください。その際、送り用配線をねじったりしないでください。離線は必ず電源を切り、解除ボタンをマイナスドライバーで押さえながら、送り用配線を引き抜いてください。
3. 送り先器具への接続は、送り先器具の取扱説明書をご確認ください。

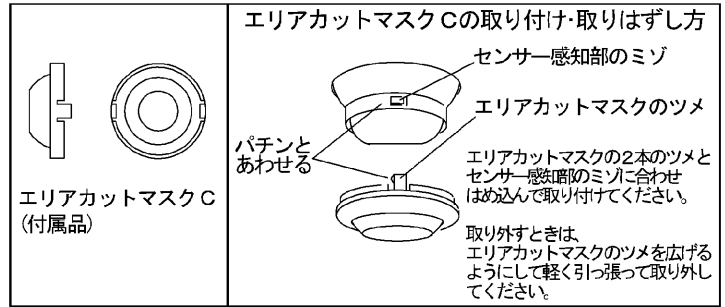
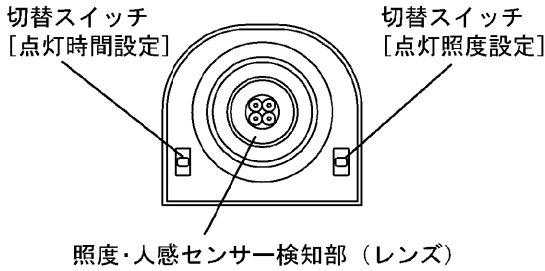
**警告** 感電・発熱・焼損・火災の原因となります。

- 連動用端子台には絶対に電源を接続しないでください。故障の原因となります。
- 連動可能負荷以外を使用しないでください。故障の原因となります。
- センサー付器具を送り配線で接続しないでください。故障の原因となります。
- 器具本体に送り用配線を接触させないでください。感電・火災の原因となります。



連動可能負荷	
白熱電球	合計60Wまで
電球形蛍光灯 (ネオポールZ)	10W形 1灯まで 15W形 1灯まで 25W形 1灯まで

## ■ センサーの名称



※エリアカットマスクC (付属品) は取扱説明書に取り付けて出荷しております。

## ■ 照明器具設置後検知エリアを決定する

- 検知エリアを決定するには「テストモード」で行うと便利です。「テストモード」は周囲が明るいときでも、人を検知するたびに約5秒間全光点灯します。器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。

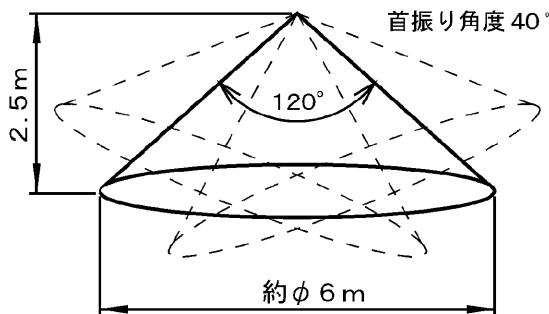
1. 「点灯照度設定」スイッチを「テスト」に合わせる。
2. 壁スイッチをONします。

※どのモードでもON直後はランプが点灯⇄消灯になりますが故障ではありません。約1分後に設定モードで動作します。

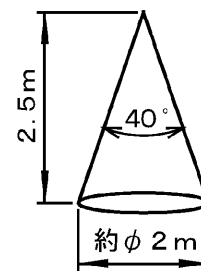
3. 人感センサー検知部を動かして位置を決めてください。



- 検知エリア** ※検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。(特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。)



### エリアカットマスク使用時



エリアカットマスクを取り付けることにより、検知エリアを狭くすることができます。

## ■ 点灯する暗さを決める

- 出荷時は「テスト」に設定されています。

点灯させる周囲の明るさを選択します。

[暗] 暗くなってから点灯します。(約15ルクス)

[明] 夕方から点灯します。(約45ルクス)

[テスト] 周囲が明るい時でも人を検知するたびに点灯しますので、検知エリアを確認する時にご使用ください。

点灯照度は器具を取り付けられる周囲の明るさによって調整してください。



## ■ 器具を取り付ける前に

1. 検知エリアを考慮して設置してください。

- 高さ3m以内に設置してください。
- センサーの特性上、検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。
- 器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白色や光沢のある床や壁から1.5m以上離して取り付けるか、もしくは検知部方向を調整してください。

2. 検知エリア内に障害物がある場所への設置はお避けください。センサーが働かないことがあります。

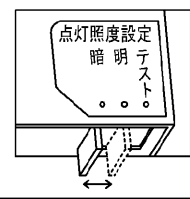
3. 1個の壁スイッチで、本器具を2台以上を取り付けしないでください。

- 雨や雪などをセンサー検知してランプが点灯する場合がありますが、故障ではありません。

## ■センサー機能について 動作設定方法

- センサーユニット側面の点灯設定スイッチを調整することにより点灯時間を切り替えることができます。
- 壁スイッチの操作で連続点灯させることもできます。

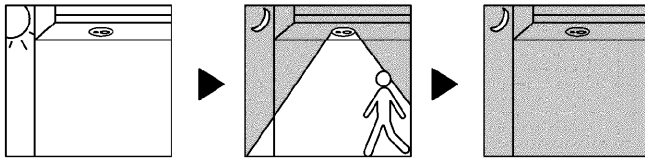
[点灯照度] スイッチ  
どのモードでも  
[明]又は[暗]に設定する。



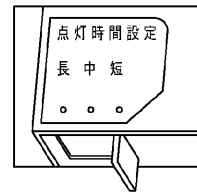
### 点灯時間設定『短』

●出荷時は「短」に設定されています。

日中は消灯 暗くなって人が近づくと 100%の明るさで点灯 人がいなくなると 約30秒で消灯

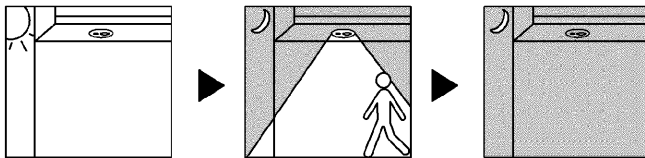


[点灯時間設定] スイッチ

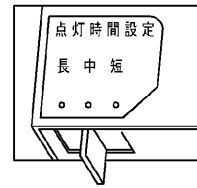


### 点灯時間設定『中』

日中は消灯 暗くなって人が近づくと 100%の明るさで点灯 人がいなくなると 約60秒で消灯

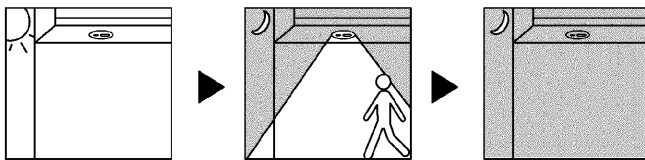


[点灯時間設定] スイッチ



### 点灯時間設定『長』

日中は消灯 暗くなって人が近づくと 100%の明るさで点灯 人がいなくなると 約180秒で消灯



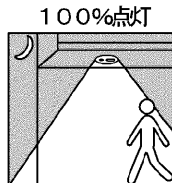
[点灯時間設定] スイッチ



### 連続点灯

人がいなくても8時間連続点灯。

壁スイッチを操作して点灯させておくことができます。

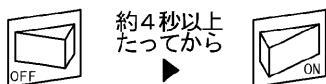


約8時間たつと元の設定モードにもどる

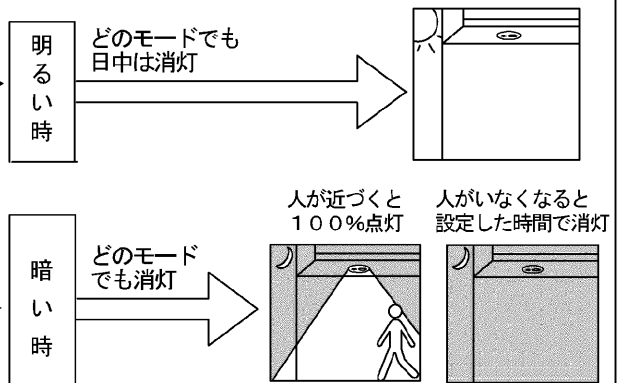
1. 壁スイッチを一度OFFさせて 2. すばやくONにする



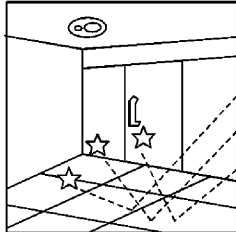
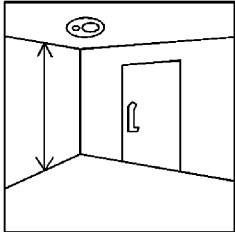
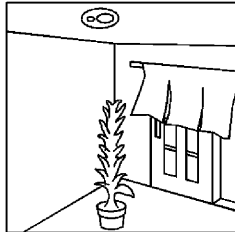
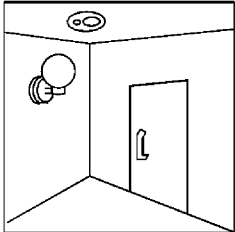
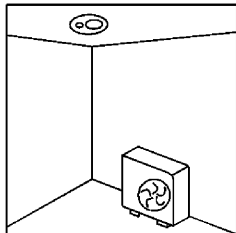
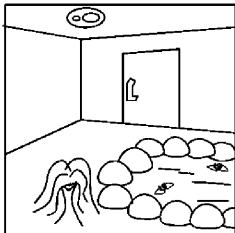
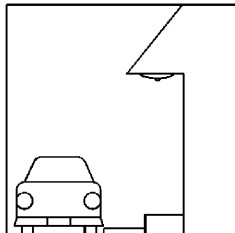
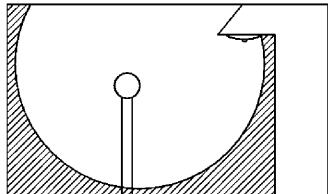
連続点灯を解除する時は、OFFにして4秒以上たってからONにする



壁スイッチをONにした直後は、ランプ点灯⇔消灯になり約1分後に設定モードで動作します。



**■ 次のような場所には取り付けないでください。** (検知しなかったり、誤動作、故障の原因になります。)

<p>大理石など反射の強い床面のある場所。</p> 	<p>取付高さが3m以上になる場所。</p> 	<p>風などでよくゆれる、のれんや植物などがある場所。</p> 	<p>他の光源に近い場所。</p> 
<p>エアコンの吹き出し口の近く。吹き出し口に対向する場所。</p> 	<p>検知エリア内に木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く場所。</p> 	<p>検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。車のヘッドライトが直接あたる場所。</p> 	<p>昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。 ・取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられます。壁スイッチを設置してください。</p> 

**■ 故障かな？と思ったら**

■ センサーの動作が故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行ってください。

現象	考えられる原因	処置方法
<p>周囲が暗くなって人が近づいても点灯しない。</p>	<p>電源接続が正しく行われていない。</p>	<p>電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店に修理をご依頼ください。)</p>
	<p>壁スイッチ(電源)がOFFになっている。</p>	<p>壁スイッチ(電源)をONにしてください。</p>
	<p>壁スイッチが故障している。</p>	<p>壁スイッチを交換してください。 (工事店等に交換をご依頼ください。)</p>
	<p>ランプが切れている。</p>	<p>壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。</p>
	<p>厚手の服を着ている。傘をさしている。</p>	<p>熱量を検知するためコート等を着込んでいたり、傘をさしていると体温が検知されず反応しない場合があります。※1</p>
	<p>センサーの表面に汚れが付着している。</p>	<p>水で固く絞った柔らかい布で軽くセンサー表面の汚れを落としてください。</p>
	<p>検知エリアに人が入っていない。</p>	<p>検知エリアの確認、調整を行ってください。P3</p>
	<p>照度検知に対し周りが明るすぎる。</p>	<p>設定されたモードより暗くなると人感センサーが動作します。P3</p>
<p>点灯したままで消灯しない。</p>	<p>連続点灯モードになっている。</p>	<p>センサーモードに戻してください。P4</p>
	<p>電源の瞬時停電でセンサーが連続点灯モードになっている。</p>	<p>電源の瞬時停電があると、連続点灯モードになる場合があります。P4</p>
	<p>検知エリアに熱源がある。</p>	<p>検知エリアから熱源を取り除いてください。※1</p>
	<p>検知エリア内に、常にセンサーに反応するものがある。</p>	<p>検知エリアから反応するものを取り除いてください。※2</p>
	<p>激しい雨が降っている。</p>	<p>センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1</p>
	<p>検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場所がある。</p>	<p>検知エリアの調整をしてください。※1</p>
<p>センサーが故障している。</p>	<p>センサーを交換してください。 (お買上げの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)</p>	

# ■故障かな？と思ったら (つづき)

現象	考えられる原因	処置方法
人が近づかなくても点灯する。	壁スイッチ（電源）をONにした。	壁スイッチをONにした直後はランプが点灯⇔消灯します。約1分後に設定モードで動作します。
	検知エリア内にペットなどの動物がいる。	ペットなどの動物にもセンサーは反応します。※1
	激しい雨が降っている。	センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く と検知する場合がある。	検知エリアの調整をしてください。※1
	検知エリア内を車などが通る。	車の通りが激しいところでは誤動作しますので、検知エリアの調整を行ってください。※1
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	電源電圧の一時的に急激な変動があった。	※3
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
ランプが短寿命である。	電球形蛍光ランプのランプ不良の場合がある。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	電源電圧が高めである。	電圧が高いとランプ寿命が短くなります。
	振動が多い場所に取り付けてある。	振動でランプが切れる場合があります。 振動が少ない場所に取り付けてください。
	他社製ランプで器具に適合していない。	当社指定ランプをご使用ください。
検知エリアに人がいるのにランプが消える。	ランプが切れた。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	検知エリア内で動かなくなった。	検知エリア内に人がいても、動きがない場合にはセンサーが検知しなためランプが消えます。 動くとセンサーが検知しランプが点灯します。
	センサーの電源を都度、入り切りしている。	電源をONにした直後はランプが点灯⇔消灯します。約1分後に設定モードで動作します。※3
明るさに関係なく人に反応し点灯する。	[点灯照度設定]スイッチが「テスト」になっている。	[点灯照度設定]スイッチを「暗」または「明」に設定してください。P3
明るさに関係なく点き放しになる。	誤った壁スイッチ操作や瞬間的な停電などで連続点灯モードになっている。	壁スイッチ4秒以上OFFにしてから再びONにしてください。 設定されているセンサーのモードに戻ります。P4

※1 人感センサーは赤外線検知方式となっています。これは検知エリア内の熱変化（温度変化）を検知する方式です。このため、検知エリア内でのペット等の動物の動きにも反応します。また、木や池等の水面が風等で動いた場合や、雨等の水滴がセンサー表面に付着した場合や、水滴がセンサー前面を動いても反応する事があります。また冬季に厚手の服を着ている場合、体温が服の内部に閉じ込められて、服の表面温度が外気と差が無いためにセンサーが反応しないことがあります。

※2 このセンサーは、照度センサーと人感センサーが複合しています。点灯は照度センサーが優先され、消灯は人感センサーが優先されます。通常は周囲が暗くなり照度センサーが検知状態となってから人感センサーが動作します。人感センサーが検知して全光点灯状態のときは照度センサーは動作しません。この機能のため、周囲が暗い状態で人感センサーが動作し、検知し続けることにより点灯を維持すると、周囲が明るくなってもランプは点灯したままとなります。

※3 電源投入直後は約1分間ランプが点灯⇔消灯になりセンサー内のマイコン調整を行います。マイコン調整が終了するとセンサー待機状態となります。

※4 反射が強い床面や壁面に取り付けると、ランプの光が反射して、照度センサーが明るくなったと検知して消灯し、消灯後暗くなったと検知して再び点灯するといった点滅状態となる場合があります。この場合、ランプ照射部分が可動できるものは床面や壁面を照らさない方向に可動させてください。その他の器具は、器具の設置位置を変更するか、床面や壁面が反射しないような措置が必要となります。

**保証について**  
 ・保証期間は、商品お買い上げの日から起算です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。  
 ・ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信器は対象外です。  
 ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。  
 ・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

**修理を依頼される時**  
 ・保証期間中は、お買い上げ店を特定できるものを添えてお買い上げの販売店（工事店）までご持参ください。  
 ・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。  
 ・修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。  
 ・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。  
 その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

**保証の免責事項**  
 1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。  
 (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷  
 (2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷  
 (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷  
 (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷  
 (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合  
 (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷  
 (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷  
 2. 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

**部品について**  
 ・修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。  
 ・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。  
 ・補修用性能部品の保有期間  
 弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。（セード・グローブなどは含まれません。）

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

**お買い上げの販売店へご相談ください。**

販売店に修理のご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

TEL 0120-66-1048

受付時間：365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-861-6485(通話料:有料)

FAX 0570-000-661(通話料:有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。  
 ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

**東芝ライテック株式会社** 住宅照明部 住宅照明担当 〒237-8510 神奈川県横浜賀市船越町1-201-1 電話(046)862-2103 FAX(046)861-8776

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

338 0098 B